

桜岡小学校歴史アルバム～1952年から70周年まで

戦後、子どもたちの増加にともない、桜岡小学校からいくつもの分校が開設されました。南台分校（のちに南台小学校）、下永谷分校（下永谷小学校）、藤の木分校（藤の木小学校）などです。それぞれすぐに独立した小学校になりました。昭和42年には初めて鉄筋校舎（A棟）が建ち、昭和47年には現在のB棟も鉄筋校舎になりました。

- ・昭和34年（1959年） 9月11日 南台分校開設 笹下町2213（8教室・305名）
- ・昭和36年（1961年） 4月8日 創立50周年記念式典
- ・昭和36年（1961年） 5月1日 南台分校が横浜市立南台小学校として分離独立
- ・昭和38年（1963年） 7月18日 プール完成
- ・昭和42年（1967年） 2月10日 鉄筋3階建て8教室完成（現在のA棟の一部）
- ・昭和42年（1967年） 4月 下永谷分校 南区下永谷町1381（18教室）
- ・昭和43年（1968年） 3月18日 鉄筋3階建て10教室完成（現在のA棟の一部）
- ・昭和43年（1968年） 3月30日 給食室完成
- ・昭和43年（1968年） 4月1日 下永谷分校が横浜市立下永谷小学校として分離独立
- ・昭和43年（1968年） 4月 藤の木分校開設 南区大岡四丁目（289名）
- ・昭和44年（1969年） 4月 横浜市立藤の木小学校として分離独立
- ・昭和46年（1971年） 6月6日 創立60周年記念式典
- ・昭和47年（1972年） 3月7日 鉄筋4階建て16教室完成（現在のB棟の一部）
- ・昭和51年（1976年） 6月1日 別所小学校開校。別所地域が学区からはずれる。
- ・昭和56年（1981年） 10月8日 創立70周年記念式典。同窓会から日時計が寄贈され、タイムカプセルが格納される。

写真一覧

※一覧の写真をクリックすると大きな写真にジャンプします。



昭和31年頃。学校の敷地は外柵で区切られています。



昭和30年頃の校門（東門）前風景。正門はくま門ではなく東門でした。下校する時には蛍の光のメロディーが流れていたそうです。当時は水飲み場がありました。



昭和28年、木造校舎の廊下の雰囲気。



昭和31年入学式。髪の毛の短い男子が少なくなりました。



出典: 横浜市立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

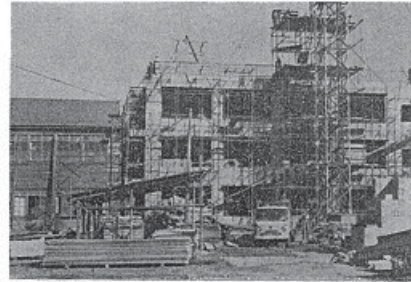
昭和30年代の運動会。騎馬戦はちゃんばらのように棒をもって戦っていたようです。



藤の木分校と発着方

出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和43年6月22日

開校したばかりの藤の木分校の様子。



改築中の本校(41.11.22 写す)

出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和11年12月16日

建築中の鉄筋校舎(A棟)。



—完成した新校舎より巣立つ卒業生— 9.42.3.2 写す

出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和42年3月23日

完成した鉄筋校舎(A棟)から巣立つ卒業生。



出典: 横浜市立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

昭和46年頃、校庭にはシーソーと釣り輪がありました。



出典: 藤原町立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

昭和45年頃の集団下校訓練。



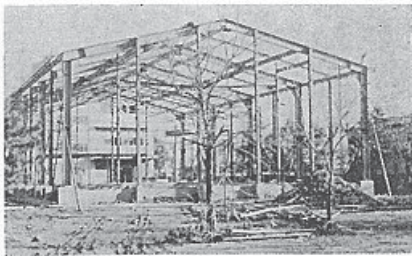
出典: 藤原町立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

昭和45年の運動会、鼓笛隊の演奏。後ろには42年に完成したばかりの手鉄筋校舎(現在のA棟)が見えます。



出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和43年6月22日

駅前への歩道橋掃除。



<11月20日写す>

出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和43年1月28日

昭和46年、建設中の体育館。



出典: 藤原町立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

建設中の体育館の板張り作業。



出典: 福岡小学校PTA広報誌 さくら25号, 昭和48年6月28日

体育の授業の様子。



出典: 藤原町立福岡小学校創立100周年記念誌, 2011

昭和50年代のクラスの様子。黒板に「スーホの白い馬」が書かれています。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

昭和50年代前半までは、机は木製の二人掛け長机でした。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

60周年を記念して造った人文字。桜岡の校章を表しています。B棟の一部とプール横にまだ木造校舎が残っています。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

運動会の様子。まだ一部木造校舎が残っています。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

昭和50年代 小さな丘と滑り台（現在のさくらルーム横）。国語の「くじらぐも」をイメージした絵と一緒に。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

昭和50年代頃まで使われていた木製の椅子。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

昭和50年代のプールの授業。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

昭和50年代の運動会。高学年はリコーダーを演奏しながら入場。



70周年記念の「桜岡」の人文字。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

70周年を記念してタイムカプセルが日時計の中に格納されました。



写真-藤原市立桜岡小学校創立100周年記念誌、2011

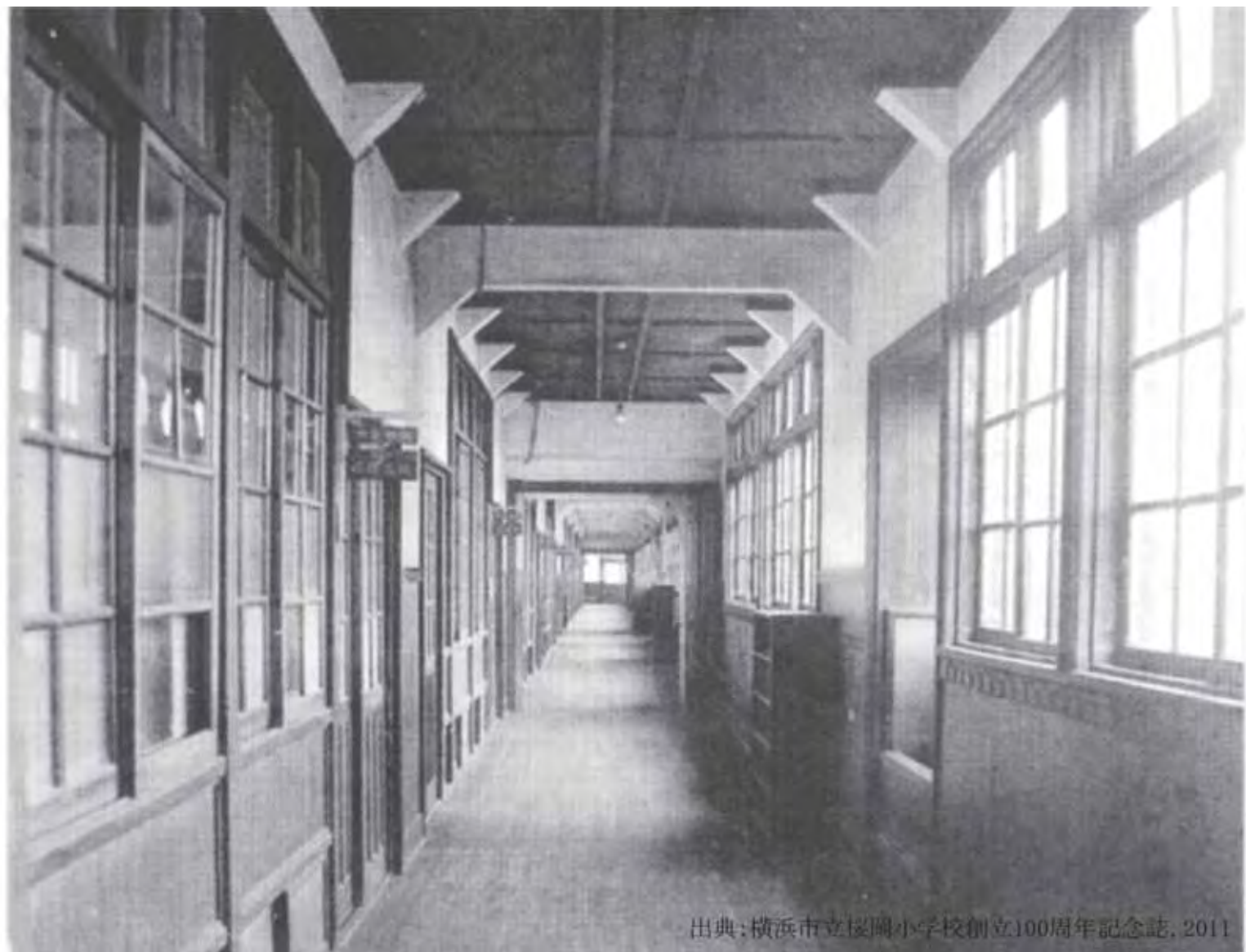
成績表の変遷。「通知票」から「あゆみ」、「かがやき」へ。



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典:横浜市立桜網小学校創立100周年記念誌, 2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



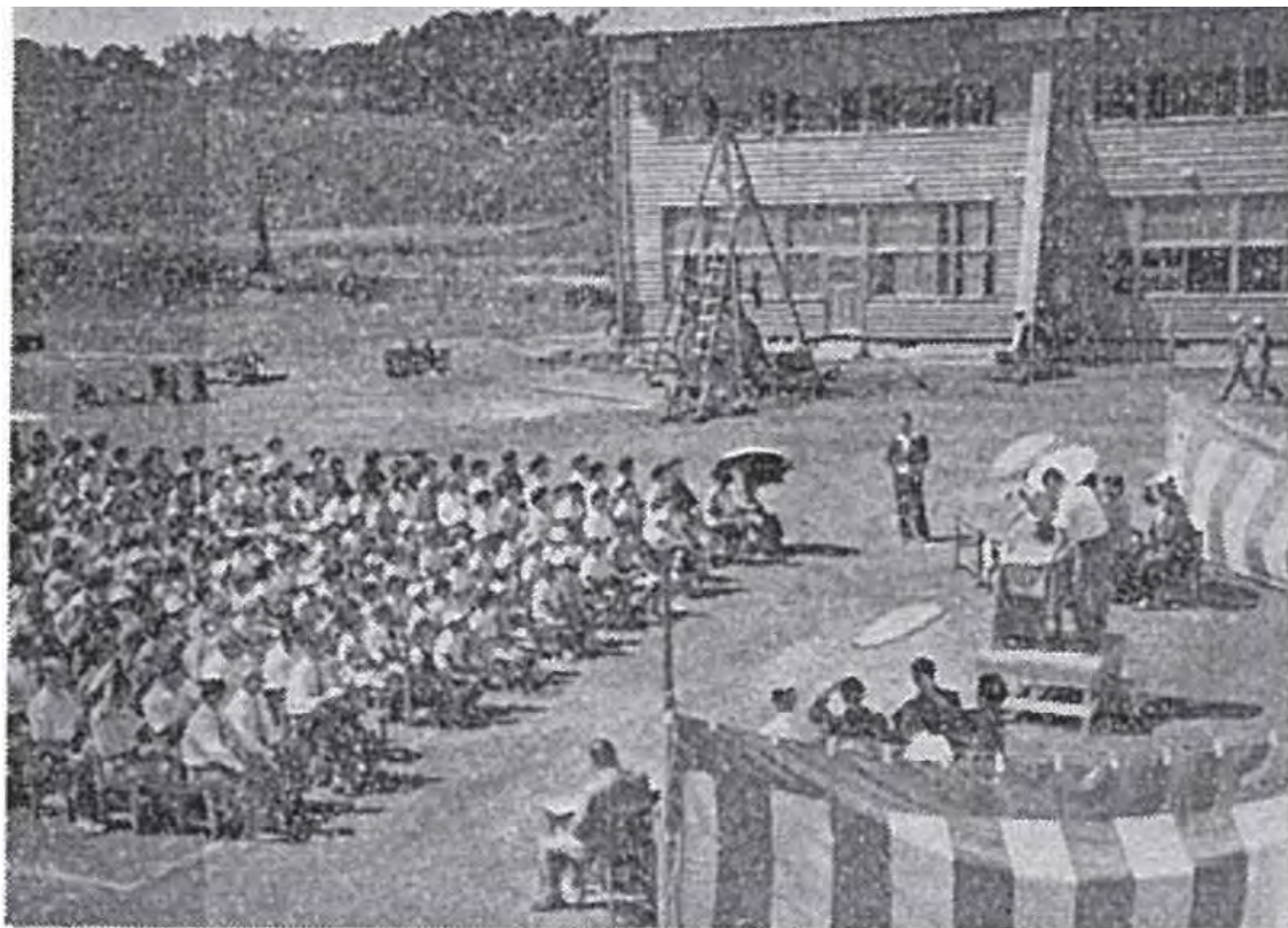
出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和34年10月21日



校
地
埋
立
開
始
さ
る

出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和32年3月10日

[写真一覧に戻る](#)

増築校舎落成

！青田の跡へ六教室！

待望の増築校舎は左記の通り完成して、第二学期早々から使用開始、二部授業が二年生までとなりましたが、新年度からまたまた三年生までというのが必至の状態です。

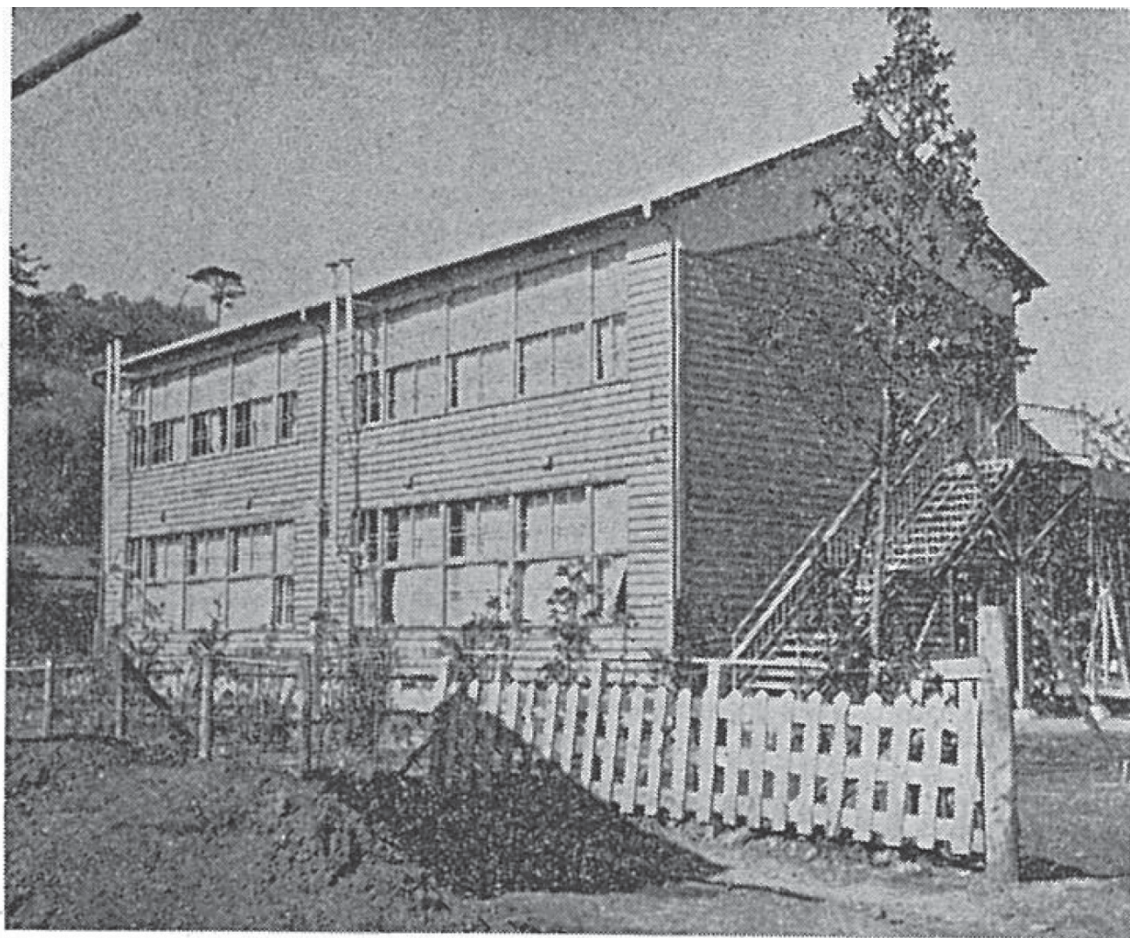
教室 四 (八米×一〇米)

廊下 二 (二米×一〇米)

昇降口 一 (四米× 八米)

その他非常階段・渡り廊下手洗場(二)階段

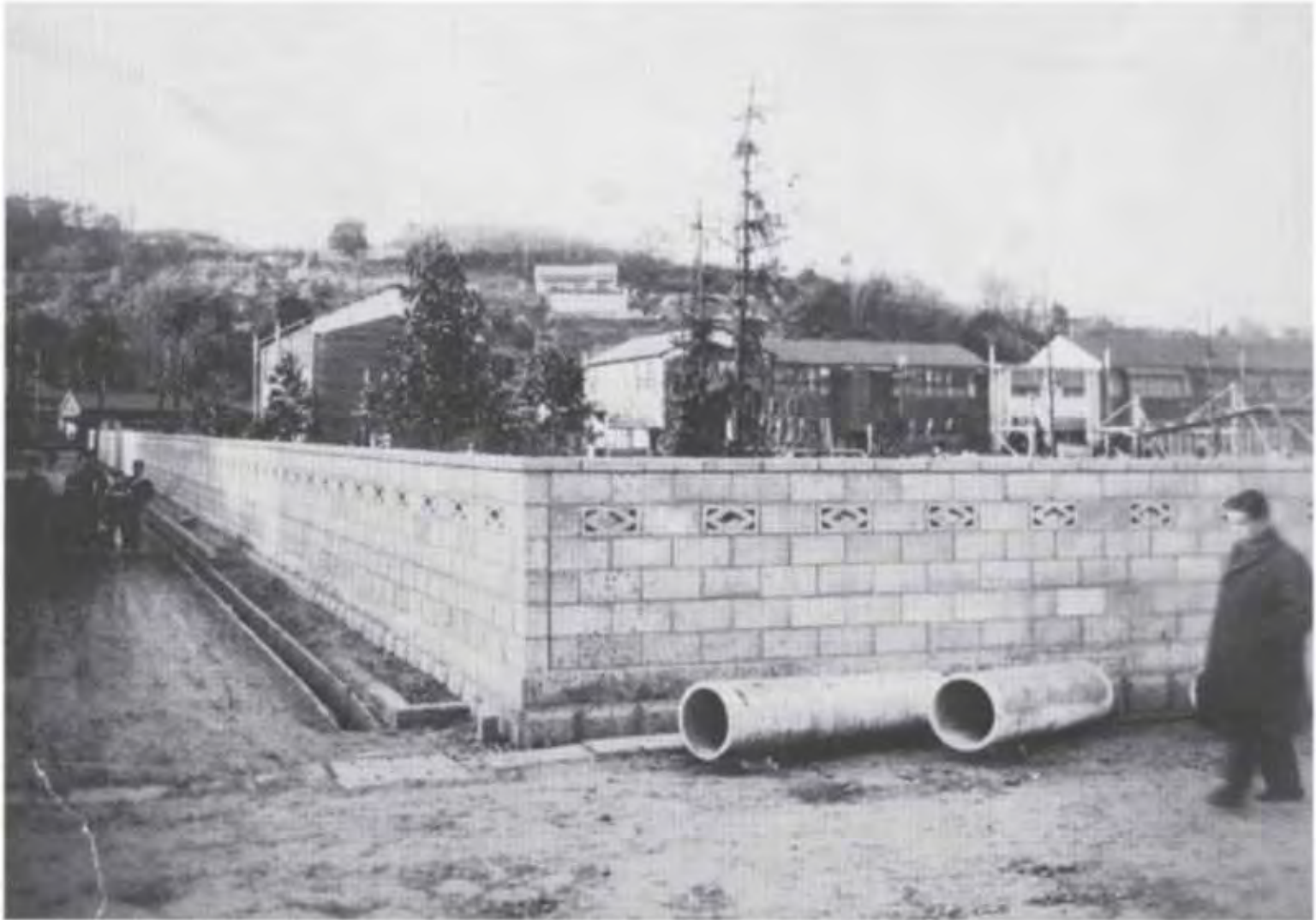
また校庭の第二期整地工事が近く始まりですが、第一期工事は四六日で稼働人数延七六〇人でした。



出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和33年3月17日



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



田んぼづくりの作業（7月）

出典：桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか，昭和38年7月15日



みのった稲（かかしをたてて）10月

出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和38年7月15日



プ ー ル 工 事

出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和38年7月15日



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011

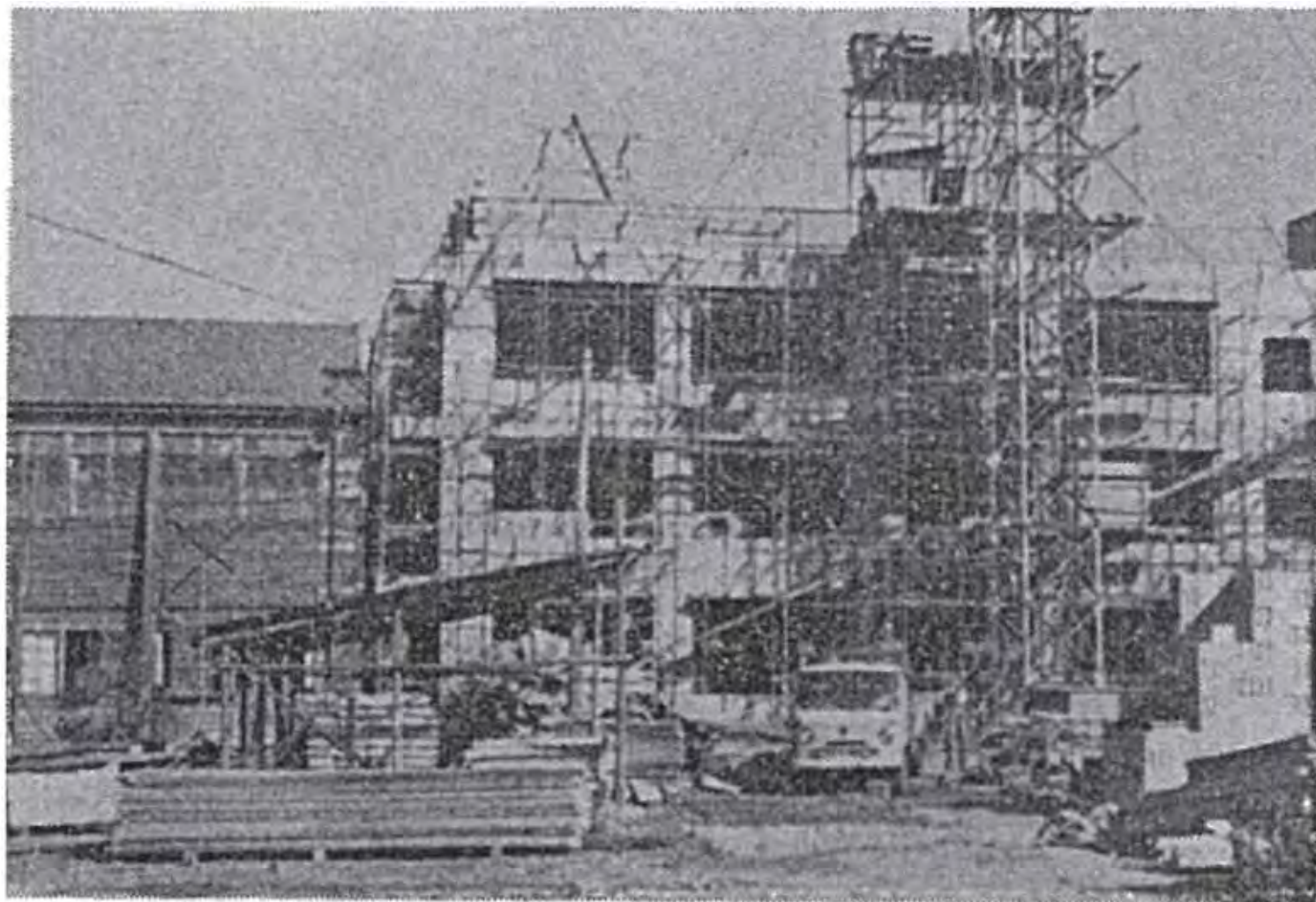


出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



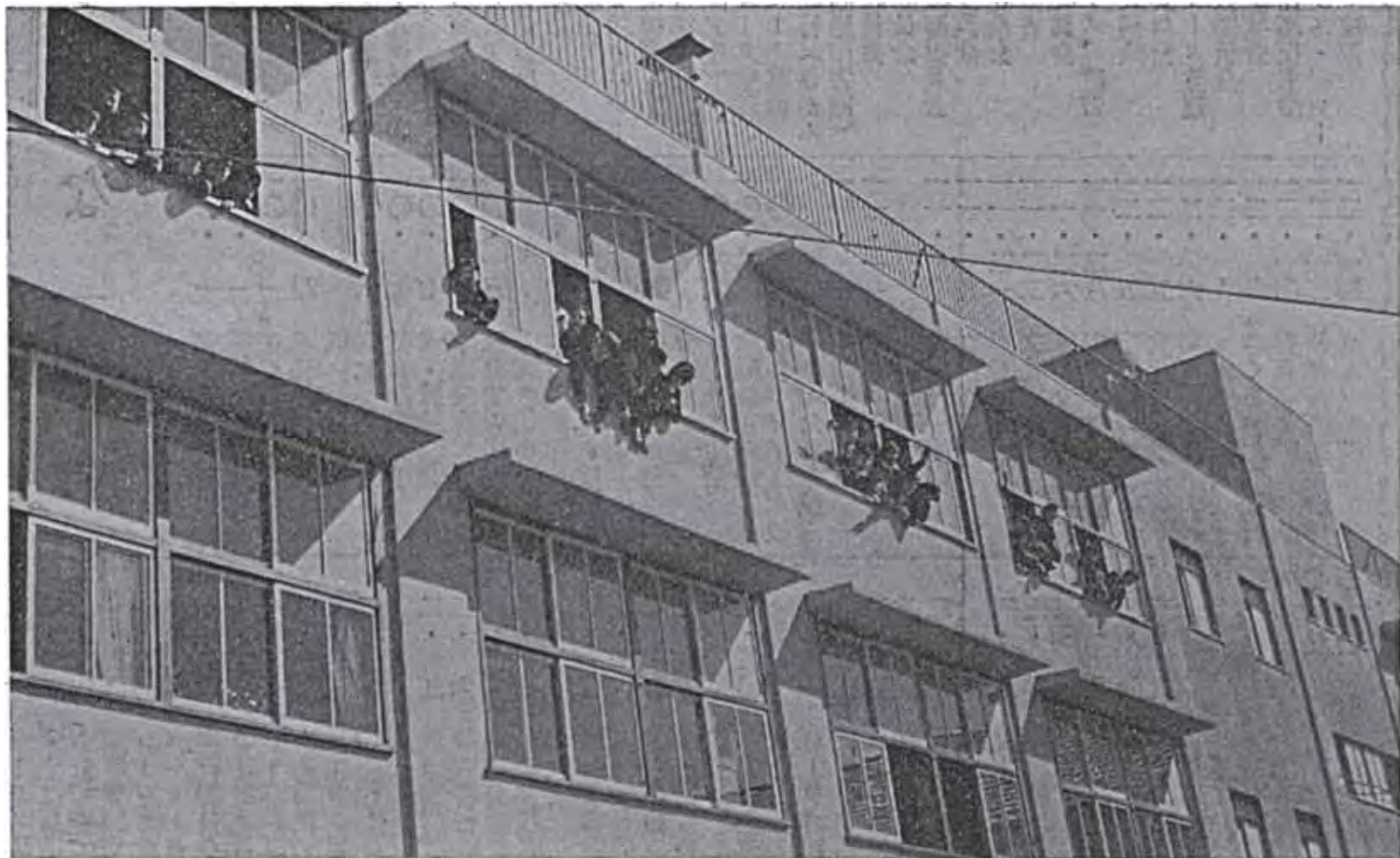
藤の木分校と先生方

出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和43年6月22日



改 築 中 の 本 校 (41. 11. 22 写す)

出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和41年12月10日



— 完成した新校舎より巣立つ卒業生 — S. 42. 3. 2 写す

出典: 桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和42年3月20日



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



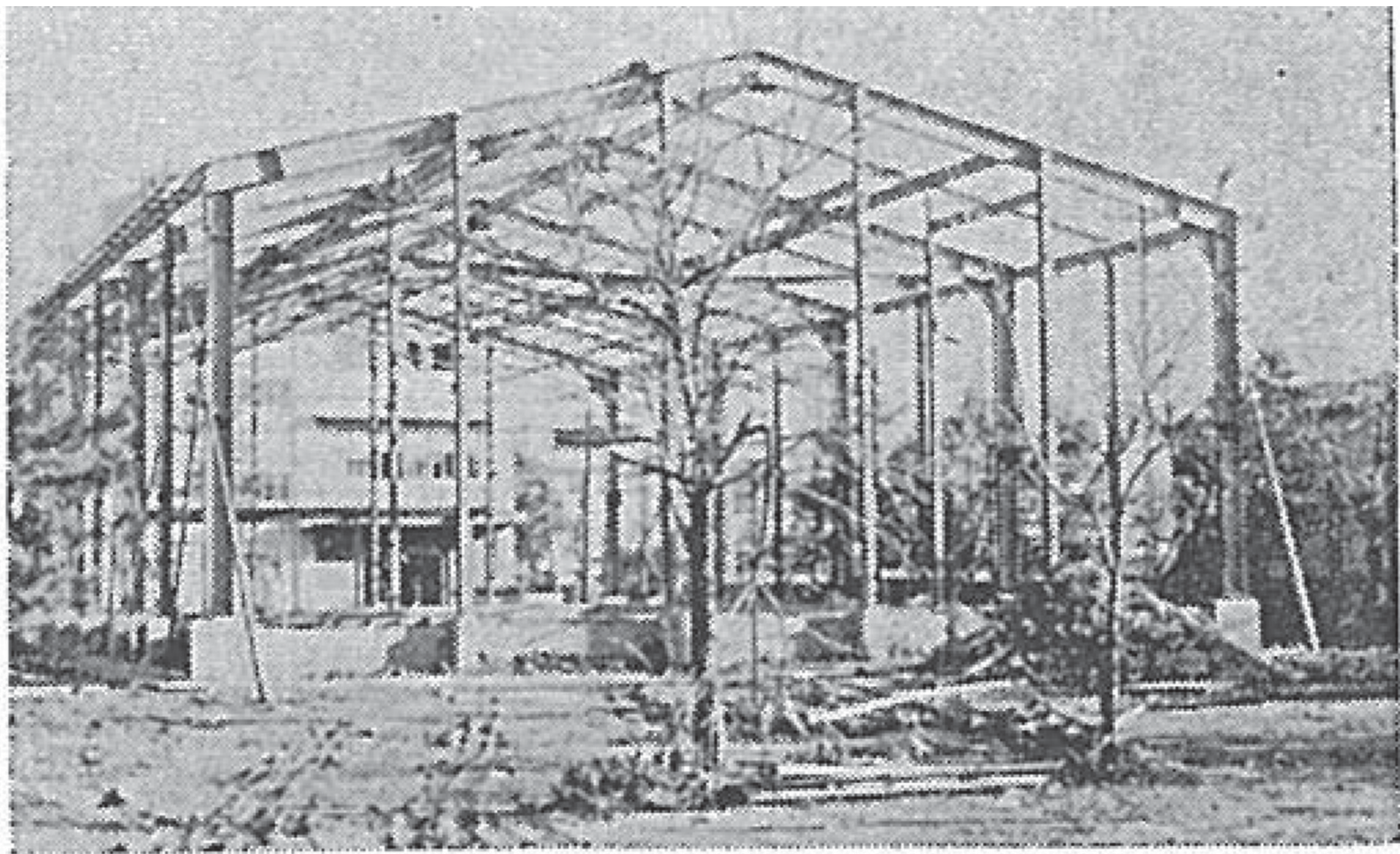
出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和43年3月22日



<11月20日写す>

出典: 桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和45年1月28日



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:桜岡小学校PTA広報誌 さくらおか, 昭和48年6月20日



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



出典:横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌, 2011



夢のタイムカプセル 30年後にもかって GO-



タイムカプセル収納の日時計↓



記念のタイムカプセル S56.10.8

十月三十日(日)本校校庭において、同窓会の皆様より、寄贈いただいた「日時計」とその台座に、全校児童の見守る中、児童会の子供達四人の手によって、タイムカプセルが収納されました。
中には、全校児童の作品、記念誌、本、その他記念となる物が、密封されて入れられています。
三十年後(百周年)に開封されます時、今の児童は、ちよろど、お父さんやお母さんの年頃になっていますが、どんな思いで、この中味を見てくれるのでしょうか。
子供達の将来に期待をかける思いの中で、収納式は終りました。

タイムカプセル

百周年に開封

P T A 会計 田野井 一

本年桜園小学校創立七十周年にあたり、同窓会より、日時計とタイムカプセルが寄せられました。

これは、同窓会長笠原長作氏をはじめ役員の方々のあたたかい御理解と御協力により実現したものです。
早速専門委員会の志原先生を中心に、同窓会の方々が構想をたて、カプセルの寸入れる物の封緘を委ねて参りました。
その結果、カプセルの意義として、記すべし七十周年の思い出になるように、又そのと実を考へる教材として、利用することを目的とし、企画立案されました。中には児童の絵や作文、作品等、又九月三日に撮影した学校周辺の航空写真を同時に保存しました。カプセルは、日時計の下に納められ、三十年後の創立百周年を記念して開封いたします。さて中国の語に、井戸水を飲む時、その水を造つた人を知ることがありますが、本年三十年を迎え九校同小学校を思う時、長い歴史の中で、学校を継ぐとして育てはぐくんでいったいた数多くの先生方、何かと御支援をいただいた地域の皆さん、又学校と児童の為に、多大な努力をいただいた歴代のP T Aの方、そして各分野で活躍しているたくさんの方々の手紙の皆さんに、心からなる拍手を送りたいと思います。

人間が成長していくうえで、一番大切な小学校時代に、純真に憧れた夢が、三十年後にどういうふうになっているでしょうか。
今の在校生は、自づと立派な社会人として、それぞれ各分野で活躍し、又父親として、母親として、現在のP T Aの父兄の皆さんと同じように、母校のために尽くしていかれることでしょうか。
何年たつても、小学校時代の事は忘れられません。どんなに時代が変わろうとも、全児童の心ふるさとのある桜園小学校時代を忘れないで、奮めるとき、若しき時、この純真な気持ちをもち続けて、あらゆることにチャレンジしていただきたいと思ひます。
私は、これからの時代は人間本来の生き方生き方が問われる時代になって行くと思ひます。自分自身らしく、相手の身になって行動できるような感性豊かな人間になってほしいと思ひます。
「生きていく」ということは、人様に寄り添って生きていくことであり、「生きて行く」ということは、その借りを返して行くことだと思ひます。
三十年後、より多くの「生きて行く」人を夢に、空見風の舞やかな成長を祈念申し上げます。

出典：横浜市立桜園小学校創立100周年記念誌、2011



1971年（昭和46年）までは成績表は「通信票」といいました



1972年（昭和47年）から「あゆみ」



2001年（平成13年）から「かがやき」

出典：横浜市立桜岡小学校創立100周年記念誌，2011